

2022年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：組織論特論	
担当教員名：丁 圏鎮	
授業科目概要： この授業の目標は、組織理論を学び、理論を実際の組織活動に適用できる能力を修得することにある。前半では、組織構造に関する基本原理、設計要素、環境要素をはじめ、多様かつ複雑な実際組織を理解・分析するための理論的枠組みを学ぶ。さらに、社会における組織をいくつかのタイプに分類して、それぞれの構造的、環境的、戦略的特徴を比較・分析し、如何にして組織の有効性を高めるかを考察する。後半では、組織における個人（集団）の協働活動を高めるために欠かせないモチベーション、リーダーシップ、コミュニケーションに関する基本的理論を学び、それらを組織に活用する具体的方策について考察する。さらに、社会革新（social innovation）のために果たすべき個人の役割と組織の役割を、「知の創造」と「共通価値の創造」の観点に立って学習する。	
履修上の留意事項： ・ 毎回、予習を徹底にすること ・ 議論に積極的に参加すること	
教科書・参考書（参考文献）	
書名（教科書）：『組織設計と個人行動』【増補版】 著者／編者：丁 圏鎮 出版社：文眞堂 出版年：2020年	書名： 著者／編者： 出版社： 出版年：
書名（参考書）：『人間感覚のマネジメント』 著者／編者：H. ミンツバーグ 著・北野利信 訳 出版社：ダイヤモンド社 出版年：1991年	書名（参考書）：Mintzberg on Management 著者／編者：H. Mintzberg 出版社：Free Press 出版年：1989
書名（参考書）：『流れを経営する』 著者／編者：野中郁次郎 編 出版社：東洋経済新報社 出版年：2010年	書名（参考書）：『実践ソーシャル・イノベーション』 著者／編者：野中郁次郎 編 出版社：千倉書房 出版年：2014年
評価方法及び判定基準： ・ 授業中の議論：40点 ・ 期末テスト（または、レポート）：60点	
授業目標及び進め方： ・ 授業目標：組織理論を学び、その理論を実際の組織に適用できる能力を修得する。 ・ 進め方：予め文献を読んで、内容を正確に理解する。 履修生同士で内容理解を確認し、要点および論点について議論する。 教員が解説および全般的コメントを行う。	

第 1 回	テーマ：組織とは何か、組織構造、調整メカニズム 内 容：組織の定義、組織の捉え方、組織の主要部分、調整メカニズム 教科書／参考書
第 2 回	テーマ：組織の設計要素、状況要因 内 容：専門化、公式化、教育と教化、単位編成、単位規模、計画・統制、リエゾン、分権化、年齢と規模、技術システム、環境、パワー 教科書／参考書
第 3 回	テーマ：組織の類型的考察（１） 内 容：企業家的組織、機械的組織、多角的組織 教科書／参考書
第 4 回	テーマ：組織の類型的考察（２） 内 容：専門職業的組織、革新的組織 教科書／参考書
第 5 回	テーマ：組織の類型的考察（３） 内 容：伝導的組織、政治的組織 教科書／参考書
第 6 回	テーマ：効果的組織設計 内 容：形と力の原理、形と力の統合 教科書／参考書
第 7 回	テーマ：モチベーション理論（１） 内 容：内容理論 教科書／参考書
第 8 回	テーマ：モチベーション理論（２） 内 容：過程理論、内発的動機づけ 教科書／参考書
第 9 回	テーマ：リーダーシップ理論（１） 内 容：資質理論、行動理論、条件適合理論 教科書／参考書
第10回	テーマ：リーダーシップ理論（２） 内 容：リーダーの役割、コーチング 教科書／参考書
第11回	テーマ：コミュニケーション理論（１） 内 容：コミュニケーションの機能、場の理論 教科書／参考書
第12回	テーマ：コミュニケーション理論（２） 内 容：場の機能、場の活性化 教科書／参考書
第13回	テーマ：コミュニケーション理論（３） 内 容：知識創造理論、知識創造モデル 教科書／参考書
第14回	テーマ：ソーシャル・イノベーション（１）：個人の役割 内 容：創造的リーダーの役割と求められる能力、知の創造 教科書／参考書
第15回	テーマ：ソーシャル・イノベーション（２）：組織の役割 内 容：企業の社会的責任（CSR）、共通価値（CSV）の創造 教科書／参考書